

第2学年 生活科（食育）学習指導案

日 時 令和2年5月28日（木）第4校時
指導学級 徳島市 新町小学校 第2学年 14名
指導者 学級担任

1 単元名 春だ 今日から 2年生

2 単元設定の理由

本学級の児童は、何事にも意欲的に取り組み、いろいろなものに興味を持っている。新学期が始まって春を見付けに校庭に出たときに、草花や昆虫を見付け、自分ならではの見付けたことを絵や文章で表現していた。食に関しては、1学年のときから「食べる」ことには積極的である。学年末のアンケート結果によると、朝食については、「食べない」児童はいない。また、給食の時間には、嫌いと思う食べ物についても、食べようと努力する姿が見られたそうである。残菜もほとんどなかった。加えて、給食時間に放送される食物や料理についての内容をよく聞き取り、知識を蓄えてきている。一方、校区は住宅地が広がり、田畑はほとんど見られない。眉山や校庭は、自然が多いが、季節と植物・食物を結びつけられていることが少ないように見受けられる。校区外から通学する児童もおり、保護者の自家用車で移動することが多い児童もいる。家庭の「食」に関しては、外食が多い、高カロリーのおやつを食べがちなどの課題がある。

生活科では、2か年を通して、「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする（小学校学習指導要領 生活 内容(5)）」ことを学習する。本単元では、進級した喜びとともに季節が変わったことに気付かせ、自分の生活を豊かにしていこうとすることを学習する。季節の変化と自分たちの関わりについては、おもに自然を介し、気付かせたい。国語科でも、季節の言葉を学習する内容があり、春以外の季節でもそれぞれに関連させたいと考えている。年間を通して、教科間だけでなく給食の時間等日常的の生活との連携を図りながら、継続した指導をしていく予定である。

行事食については、日本で古くから親しまれた食文化であり、児童になじみのあるものも多い。普段何気なく食べている行事食に込められた意味を知ることによって、進んで様々な食品を摂ろうとする態度を身につけることができるのではないかと考える。行事食が季節に関係していることにも気付くことができれば、児童の生活が豊かになるのではないだろうか。給食の献立にも行事食が取り入れられていることを調べることにより、行事食になじみのない家庭の児童も、行事食を身近に感じられるよう配慮したい。授業後、今後の生活で「いろいろな行事食を食べてみたい」「今まで食べるだけだったけど、昔の人が考えたことを思い出したい」などの感想が出るような取り組みにしたい。

3 単元の目標

春の身近な自然を観察する活動を通して、四季の変化や春の訪れに気付くことができるようにする。

4 食育の視点

伝統的な食事の中には、それぞれの季節に応じた「行事食」があることに気付く。（食文化）

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身近な自然を観察する活動を通して、季節の違いや生活の様子が変わること気付いている。	身近な自然を観察する活動を通して、季節の違いや特徴によって生活の様子が変わることを見付けている。	身近な自然を観察する活動を通して、自分の生活を楽しくしようとしている。

6 指導計画（全6時間）

校ていで春をさがそう・・・3時間（本時3／3）

7 本時

(1) 目標

身近な自然や四季の変化を生かした行事食があることや行事食に込められた意味を理解することで、今後の食生活に関心をもとうとする。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準
1 春の草花を想起する。	○ 写真を提示し、校庭などで見つけた草花を思い出させる。	<p>・自分たちの生活の中には、季節や地域にちなんだ行事食があることに気付いている。 (ワークシート)</p> <p>・自分の生活が身近な自然や季節の変化と関わっていることが分かり、それらを取り入れて生活を豊かにしようとしている。 (ワークシート)</p>
2 行事食について知る。	○ 見つけた春の草花や、これまでの生活と食の関係を結びつけさせる。 ○ 絵を黒板に貼り、思考の助けとする。	
3 給食献立表から、行事食を探す。	○ 個別の課題になりがちな内容を、共有できる給食献立表に求める。	
4 学習のまとめをする。	○ 今後の生活の中で、行事食をはじめとする「食」と季節との関連に関心をもてるよう促す。	

8 他教科との関連

第2学年 国語科「春がいっぱい」